

重点的に取り組んだ活動・内容

項 目	実 践 状 況
<p>1 実践1 【人権学習会】 (全学年)</p>	<p>DVD 視聴 低学年「むしむし村の仲間たち」 外見や能力が異なる昆虫達。大切なのはお互いの違いを認め、相手の気持ちを思いやることの大切さを教えてくれる作品。 中学年「こころや」 主人公のひろきが自分にふさわしい心を見つけ、育てていこうとする過程を描いている。 高学年「もったいないばあさんと 考えよう世界のこと」 命の大切さもったいないばあさんのメッセージとともに一緒に考える作品。</p> <hr/> <p>成果 今までの自分の言動を振り返ることができ、相手の気持ちを認め、相手の気持ちを思いやることの大切さを気付くことができた。ワークシートに感想を記入して発表することで、友達の考えを知ることができた。</p> <hr/> <p>課題 DVDを視聴して考えたことを日常生活の中でどのように実践していくか課題である。また、人権学習会の進め方や話し合いのグループ編成等さらによりよい方法を考えていきたい。</p>
<p>2 実践2 【手をつなごう ～発見！わたしにできること～】 (第4学年総合的な学習の時間)</p>	<p>障害をかかえている方、高齢者の人たちについて知ることができるように、車いす、アイマスク、高齢者疑似体験を行った。体育館にいくつかのコーナーをつくり、高齢者疑似体験セットを実際に体験した。</p> <hr/> <p>成果 疑似体験を通して、お年寄りや障害がある人たちのために「自分たちにできることは何か」考えることができた。実際に車椅子体験をすることで、段差がある所は車椅子で行くことの大変さを実感していた。また、アイマスクをつけて階段の昇降を体験することにより、「目が見えない人は歩くのが怖いだろうな。」などの意見を聞くことができた。理解し合うことの大切さを確認することができた。障害をかかえている人だけではなく、困っている人を見かけたら声をかけてみたいという気持ちをもつことができた。</p> <hr/> <p>課題 今回、学習したことを日常生活や家庭、地域でも実践できるようにしていくことが大切である。一度だけの活動で終わることなく、繰り返し継続して取り組むことで思いやりの心や感謝の心が育っていくと考える。疑似体験を基に、今後は障害をかかえている方やお年寄りの方を招いて話を聞くことも考えていきたい。</p>